

和泉地区 保護司会会報

発行所 和泉地区保護司会
責任者 堀田 徳雄
〒594-0071 和泉市府中町4-20-4
和泉市社会福祉協議会内
TEL 0725-43-7513

新任保護司紹介



西ブロック
沖田 和宏

令和5年1月25日付けで保護司を受嘱いたしました。

保護司の推薦を頂いたきっかけは、職場生活と地域生活の両面で大変お世話になつて居る古下義隆様からの「推薦によるものでした。最初、「なぜ私を選んだら良かったのだろうか？」という不思議さでいっぱいでしたが、「きつと、自分では気づけていない、保護司として何かお役に立てる可能性を見出し、お声掛けくださったのだらう。それを知る意味でも、この縁や機会をありがたくお受けしよう。」と考え挑戦する決意をいたしました。

これから携わることになる更生保護の世界と、今仕事として就いている福祉の世界における経験や知識とを上手く融合させ、保護観察を受けている、または受けていた人たちが、地域の一員としてきちんと迎え入れられ、またその地域で何らかの活躍ができるような支援が実現できるよう精いっぱい努めて参ります。諸先輩方や地域の皆さま、これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

第72回「社会を明るくする運動」大阪府作文コンテスト応募結果について

本市推進委員会から優秀作品6点小中各3点を応募した結果、南松尾はつが野学園6年北浦凜さんの作品「ふつうに接する」が佳作として入賞しました。

更生保護サポートセンター運営報告

会報第26号にてお知らせしたとおり各ブロックから選任された企画調整保護司が当番のシフトを組み駐在しています。コロナ禍における感染予防対策に留意しながら保護司をはじめとした更生保護に関わる方々の意見交換・情報交換や保護観察面接等々の場として活用いただきま

令和4年度(令和4年9月～令和5年1月)利用状況									
内容別利用数	属性別来訪者数 (延べ人数)								
	市民	学校関係	行政職員等	更生保護関連団体	保護観察官等	保護司	その他	面接	会議
	25	3	22	6	2	219	0	15	7

【注】その他:資料作成,事務補佐 行政職員等:事務局員含む 市民:保護観察対象者,引受人等含む

なお、保護観察対象者等との面接用に別室を用意できますので「活用ください。(事前に予約をお願いします。)(中達 武美)

叙勲

永年にわたる更生保護事業の発展への多大な功績により、堀田 徳雄会長が瑞宝双光章の荣誉に浴されました。(令和四年十一月三日付)

表彰者

- 大阪更生保護大会で左記の方々表彰を受けられました。(敬称略)
- 法務大臣表彰
六瀬 克裕 門林 楠三 中田 勝
- 全国保護司連盟理事長表彰
福井 けい子
- 全国保護司連盟理事長表彰(家族功労者)
和田 智子
- 近畿地方更生保護委員会委員長表彰
中尾 忠史 榎野 晴樹 小野林 治三夫 味谷 厚志 前田 米司
- 近畿地方保護司連盟会長表彰
森本 良治 西尾 征樹
- 近畿地方保護司連盟会長感謝状(家族功労者)
齊藤 明 松葉 純子
- 大阪保護観察所長表彰
沼 千瑞
- 大阪保護観察所長表彰(永年勤続保護司)
中塚 徳二
- 大阪府保護司会連合会会長表彰
竹内 義雄
- 大阪府保護観察所長感謝状(民間功労者)
和泉市町会連合会会長 居石 千里

二〇二三年度 行事予定

- ★第一期定期研修会及び総会 四月
- 和泉市コミュニティセンター
「TEAM」就労支援について」
- ★社明運動強化月間
七月一日～七月三十一日
- ★社明運動推進大会(啓発研修) 七月一日
- 和泉市コミュニティセンター
第二期定期研修会及び連絡会 八月
- 和泉市コミュニティセンター
「TEAM」面接について」ロールプレイを取り入れて」
- ★日帰り管外研修会 十月
- ★大阪更生保護大会
十月三十一日(火)
- 大阪国際交流センター
第三期定期研修会及び連絡会 十一月
- 和泉市コミュニティセンター
「TEAM」刑法等の一部改正等について」
- ★新年互礼会並びに退任保護司謝恩会 二〇二四年一月
- ★第四期定期研修会及び連絡会 二〇二四年三月
- 和泉市コミュニティセンター

訃報

南 肇 名誉会員(令和四年十月一三日逝去)
藤原 正巳 名誉会員(令和四年十二月十五日逝去)
井坂 善行 保護司(令和四年十二月二八日逝去)
生前のご功績を偲び、ここに謹んでご冥福をお祈りします。



会長
堀田 徳雄

和泉地区保護司会会長に就任して

私は保護司になって今年で30年目を迎えますが、サポートセンター設置に関わつた事から多くの保護司さんから様々な経験談をお聞きする事ができ大変感銘を受けるとともに、それまでの自分自身の保護司活動における不明を改めて自覚したことを覚えています。

その後、古下前会長のもと一緒に仕事をさせて頂いていただきましたが、前会長は大阪府保護司会連合会の副会長として和泉地区保護司会の名声を高めるとともに、和泉地区保護司会活動についても町会連合会との連携等様々な取り組みを実施され今日の和泉地区保護司会の基盤を築かれました。私は前会長について行くのが精一杯であったと思います。

現在あらゆる社会で分断化が進んでいると言われる一方、多様性を容認しすべてを包括し、皆が共に生きる共生社会が叫ばれ、誰一人取り残されない社会の構築が求められています。罪を犯した人たちの立ち直りを支援する保護司の役割はこれに通じる重要な役割を担っていると想っています。

社会が大きく変化し保護司活動も対応せざるを得ない中で私のような昭和に生まれ育つた人間が、この時代の変化に伴う様々な要請を受け止める事が出来るのかの不安を抱かざるを得ません。

浅学非才を地で行くような私に会長の職が勤まるのか心配でありませんが、皆様方の「指導」「協力を頂き、少しでも前会長の思いをつなげる努力をしたいと思います。



十代目会長
古下 義隆

八年間の「協力、心からありがとう」!

我が家の庭に「命あり今靖国の花に佇(た)つ」と刻まれた父の句碑があります。砲兵として戦つた過酷な日々、そして戦後の混乱を生き抜いた父。その父の教えを今、思い出します。

「人間関係には二種類ある。一つは軍隊や会社にある上下関係・縦軸の人間関係。もう一つはボランティア活動などの平等な横軸の人間関係。その違いに留意して、上から目線ではなく、会長をさせて頂いている、と肝に銘じなさい」

父の教えを支えに、加えて保護司の皆様の真心のこもつた「協力のお陰で、更生保護の大輪を映かせることができました。「古下さんが会長である限り、私は保護司を辞めません。」と云つて協力して頂いた保護司さんもおられます。身に余る光栄です。皆様方に心から感謝申し上げます。

「何歳になつても、今日より明日がもっと楽しみ」「この言葉をモットーに今後も特例再任で頑張ります。

後任は堀田新会長です。堀田新体制への「支援」ご協力を切にお願いいたします。

「堀田丸の輝かしい船出に乾杯!」
最後に、保護観察が解けた少年へ贈つた私の俳句で、締めくくりと致します。
「あめんぼう少年院に戻るなよ」

新役員

(二〇二三年～二〇二四年度)

- 会長 堀田 徳雄
- 副会長 森本 良治
- 副会長 松葉 善太良
- 会計 山村 武子
- 監事 金谷 忠男
- 監事 藤原 康博

理事 (◎印はブロック長)

- 東ブロック 金谷 忠男
- ◎ 藤本 幸晴
- 前田 米司
- 南ブロック 松葉 善太良
- ◎ 辻 貞治郎
- 辻 和代
- 西ブロック 堀田 徳雄
- 藤原 康博
- ◎ 辻 勝夫
- 中ブロック 山村 武子
- ◎ 北口 吉輝
- 穴瀬 克裕
- 北ブロック 森本 良治
- ◎ 西本 親徳
- 松田 義人



冊子「春木の歴史」

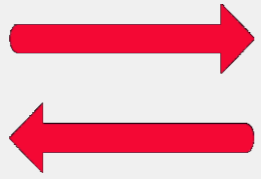


埴輪づくり

相互交流

地域・学校

保護司



- 学級よりパーティーの招待を受ける
- 作文コンテストに応募してもらう
- 入学式・卒業式に出席する
- 歴史の本を作りそれを基に地域の歴史を話す
- 陶芸教室埴輪づくりを行なう
- 登下校の挨拶・安全指導に関わる

(南ブロック 松山 武司)

活動紹介

「学校との連携」を目指して

何事も連携を図るには、相互の交流が基本になります。
 毎年、南松尾はつが野学園二年生が地域探検で私の陶芸場所へ見学に来られます。私は、心から歓迎します。
 それと三年前に中心となり編纂した「春木の歴史」を活用して地域の案内人として一歩を歩み始めました。
 コロナ禍で、何もかも停滞気味です。こ

んな時こそ子どもたちの聞きたいこと回答えたり、粘土遊びの面白さや粘土を捏ねてコップが出来ていく過程を見せて驚かせたり、子どもたちの興味をくすぐります。
 昨年の6月20日午前に南松尾はつが野学園6年生2クラス(52名)で埴輪づくりの陶芸教室を希望して来たので快諾実施しました。
 12月9日には、二年生からいもパーティーに招待してもらい子どもたちから感謝の言葉をいただきました。この年齢で孫のような子どもたちに囲まれ、元気をもらっています。

新年互礼会 (1月7日)

新型コロナウイルスの感染拡大により令和3年・4年は開催が取り止めとなりましたが、感染症は減少傾向でワクチンの接種も進んでいることから感染防止には十分注意し、一月七日(土)午後一時より、うお健にて各種団体の代表の皆様方や名誉保護司並びに保護司の出席により、コロナ禍でコミュニケーションの希薄となりがちなところを挽回するかのよう盛大に開催されました。
 (東ブロック 長尾 徳一)



活動報告

一 泊管外研修報告 (11月8、9日)

一日目 稲むらの火の館
 安政の大地震の津波の時、多くの村人を救った濱口梧陵の功績を伝える施設を見学しました。

津波防災教育センターでの講義や映像シアターの鑑賞で日々の防災への備えや地域連携の大切さを学びました。
 また、沢山の小学生が見学に来ていた事も印象に残りました。

夜は、忘帰洞で潮騒を聞きながらの入浴や趣向を凝らしたカラオケを楽しみました。

二日目 熊野三山詣で
 熊野那智大社や熊野本宮大社へお詣りしました。
 急な石段をふっふっ言いながら行きついたら先の敵かな景色に身も心も洗われる思いがしました。



稲むらの火の館

南紀白浜のとれとれ市場でお土産を買い、恒例のビンゴゲームを楽しみながら帰路につきましました。
 (南ブロック 辻 和代)

地区担当保護観察官が代わります

着任のご挨拶



谷川 甚太



田中 恭子

離任のご挨拶

和泉地区保護司会の保護司の方々ははじめ各関係団体の皆様におかれましては、平素より更生保護行政に多大なるご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。この度、田中 恭子保護観察官の後任として、近畿地方更生保護委員会から転任してまいりました谷川 甚太と申します。近畿地方更生保護委員会では、神戸刑務所の駐在官として、仮釈放審理のため、受刑者との面接を行ってまいりました。駐在官の勤務を通して、今、思うことは、一人では更生することができない者が多く存在しているということです。そのような者の改善更生を支える上でも、保護司の先生方のお力や各関係機関の皆様の支援、そして相互に連携協力する関係が必要と思っております。

本年4月1日付けで、和泉地区の担当を離れることになりました。担当させていただきます期間は、まさに「コロナ禍」で、社会全体が先の見えない不安に包まれていました。保護観察においては、対面による接触を避けなければならぬ状況で、どのように処遇していくか試行錯誤でした。また、自分自身の力不足に悩むことや、皆様にご迷惑をおかけすることも多々ありましたが、いつも皆様に助けていただき、そして、その熱意に励まされて、こうして何とかやってくることができました。改めて、皆様に支えられていたことを実感するとともに、皆様との出会いに本当に感謝しております。

担当を離れるのは寂しいですが、和泉地区の保護司の皆様を始め、関係機関や団体の皆様から学んだ経験を今後に生かしていきたいと思っております。

3年間、本当にありがとうございました。

